

磯っ子レポート

No.10

今回は1月14日に行われた左義長と1月30日に行われたこゆるぎコンサートについてレポートします。

左義長

1月14日に北浜海岸で行われた左義長は、午後7時に一斉にサイトに点火し、炎が燃え上がりました。点火から10分ほどたつとヤンナゴツコという、裸の人がほこらを海に運び、それを引き上げる行事が始まりました。寒そうでしたが、きやり唄を歌い気合をいれて海に入っていました。



ヤンナゴツコ(齋藤君撮影)

今年は去年に増して大勢の人が団子を焼きに来ていて、サイトの周りにはぎわっていました。

この日は寒い日でしたが、焼いた団子は熱く、燃え上がる炎とで体が温まりました。

左義長で焼いた団子を食べると一年間病気になると言われています。団子を食べた人はこれから風邪をひかないといいですね。海岸は夜遅くまで火がついていて

付近の道も人通りが多く、いつもと違う風景に感じました。

(齋藤啓太)

こゆるぎコンサート

郷土資料館で行われた、こゆるぎコンサートを聴いてきました。コンサートは小林秀雄さんのピアノ演奏と田中詩乃さんの歌で、たくさんの方が鑑賞に来ていました。小林さんは、みんなの歌で歌われる曲の作曲者で、ピアノ演奏は見事で話しも楽しく、また知っている曲もあつたのでうれしかったです。

田中さんは以前に国府中学校でも聞いたことがあります。歌声は会場中に響き、声で周りが震えるほどで、外へも聞こえていました。小さな体ですが、パワーを感じました。どうしたらあんなに綺麗で大きな声が出せるのか不思議に思います。また、ピンクのドレスが似合っていました。

集まった人も、話を聞いて笑ったりうなづいたり、演奏でリズムに乗ったり、とても楽しそうで、私も一緒に楽しみました。

私は音楽が好きなので、機会があったらまた参加したいと思いました。

(森山美幸)

このコーナーを一緒に手伝ってくれることも記者を募集しています。

問い合わせ
企画室 ☎内線207

こども広報記者を募集

広報おおいその「磯っ子レポート」欄の記事を作ることにも記者(広報編集委員)を募集します。

対象 新年度の小学5年生から中学3年生で、大磯町在住の児童生徒。

記者の役割 「磯っ子レポート」欄の記事を作成します(取材を通した体験や感想など)。毎月1回開催する編集会議に出席してもらいます。

募集期間 3月1日(火)～3月22日(火)
募集人員 10名程度(応募者が多数の場合は、抽選)

応募方法 指定の応募用紙に必要事項を記入し、持参、郵送またはFAXで

提出。(応募用紙は役場本庁、国府支所に備えます。また町ホームページからダウンロードできます。)

・郵送、FAXは、本紙裏表紙の住所、FAX番号を参照。

・持参の場合は、役場3階企画室。

問い合わせ
企画室 ☎内線207



こども記者取材のようす

広報カメラマンを募集

「広報おおいそ」のカメラマンになりませんか。イベントや四季の風景を自前のカメラで撮影してもらいます。撮影した写真は広報や町発行の図書等に掲載します。

資格 町内に在住する20歳以上で、カメラを所有し写真撮影に興味のある方
募集人員 5名(応募者が多数の場合は選考します。)

謝礼 ボランティアとして、報酬や交通費の支給はありません。撮影にかかる消耗品(フィルムなど)、印刷代は町で支払います。

カメラ 光学カメラ(35mm)、デジタルカメラのどちらでも可。
デジタルカメラの場合は30万画素以上が

好ましい。

応募方法 応募動機(200字程度)、住所、電話番号、氏名、生年月日、職業を明記し、自身が撮影した写真を3点(サイズは問いませんが、後日返却)と一緒に直接または郵送で企画室へ

応募期限 3月25日(金)まで

問い合わせ
企画室 ☎内線207

